

死
ぬ
ま
ま
で

墮

ち
る
の
夜

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



そう
妹紅の泣いた顔が
見たいのよ

いや…姫様
そう言われましても

夜這いの
真似事なんか…

そうっすよ
万が一慧音さんに
バレたら何を言われるか

本当に妹紅を犯して
欲しい訳じゃないの
フリよフリ

ただちょっと
泣かせて見たいだけ
ホントに犯しちゃうだけ

妹紅は
私が殺しておくから
タイミング測ってね！

じゃ、頼んだわ

まったく…
相変わらず
無理難題を…

ズッ

なんだよ
今夜は随分と
突っかかるじゃないか

そう？
いつもと変わらない
でしょう？

それより
ぼんやりしちゃう
駄目じゃないの

加減なんかわ
かないわよ？

今日は…
引き分けて
ところか…？

そうねー
そういうことに
しておいてあげるわ…

なんだとお！
こっちは
もう1回やっても…
聞いてんのか！

そろそろ
来る頃かしら？

よし…
動けない今が
チャンスだな…

アツ



うるせえな
ちよつと大人しく
してろや

貴方達っ
私まで縛ることは

だ、誰だ
お前達!?

なっ
なんだっ!?

おらっ
今のうちに
縛っちまえ!

ちよつと!
やっ、やめなさい
貴方達、離してっ



女が夜にすること
といえは一つだろ?

さっさと
ひん剥いちまおうぜ



一体何だ
やめろっ

夜中に女が二人で
殺し合いたあ

そんなん勿体無い
からよお

セックスだよ
セックス

ま、厳密には
レイプだわな

おっ、いい形の
おっぱいしてる
じゃねえの

おいっ！
見るなっ！
見るなっ！

何いってるんだ！
ふざけるなっ！

こんな極上の女を
二人も自由に来れる
なんてそうそう無いぜ

離せえ
離せよお！

揉みごたえも
十分だし

きつ、汚い手
で触るなっ！

ちよつと
調子に乗りすぎじゃ…

ちよつと！
私までっ
何するのっ

貴方達…
いい加減に…

いい加減覚悟を
決めるのはそっち
だろうが！

こいつら…？
さっきと…違う？

脱がすなあっ！

やめろっ！！
見るなあ！！
触るなあ！！

堪んねえ！
久しぶりの女体だぜ

んん、こんなに白い肌
殺し合いかホント
勿体無いねえよなあ

もっと抵抗しないと
裸にひん剥いちやい
ますよーってか

お前ら…
絶対、絶対に
許さないからなあ…

焼き殺して…
ぐう！

ちっ、コイツは
ったくウルセエな

おいおい…

うっ…
柔らかいおっぱい
こりゃあ堪らねえな
お嬢ちゃんよ

へへ…
お前も
さつき見たろ

コイツ死なねえんだよ
何してもいいんだぜ

死ななくても
苦しいんじゃない？

うぐ…
ああ…

あー大丈夫
まだ生きてる
生きてる

このまま挿入って
のはどうよ？
首も下も
締まるんじゃない

あ…
あ…あ…

ちよっと！

私は泣かせろと
命じただけで
そんなことはっ！

ああん？
邪魔すんなよ

それとも俺らの
チンポ独り占め
したいですーってか？

あー
まだ気づいてねえな？

巫山戯ないで
この手を離しなさいっ

…？
こいつら…？

はは：
姫さんらしい
勘違いだな

残念だけど
俺ら違うんだわ

話立ち聞き
させて貰ったからよ

アンタと
話をした奴等は
どっかその辺りで
のびてるぜ

姫さんよお
アンタ：

自分だけは
犯されないと
思ってたんだろ？

そーゆー
卑怯な女は
許せねーよなあ？

俺ら我慢
ならないからさあ

そりゃあもう
メチャクチャに
犯してやるよ

おまんこ
弄くり回されて
どんな気分よ？

世々

世々

世々

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ



妹紅…

離せっ！

お前らあ！
輝夜に
何するんだっ！

輝夜っ！
輝夜あっ！



ただ、嘗められても
困るからよお

本当の陵辱ってヤツ
をその死なない体に
刻み込んでやるよ！

ああああっ！



こ、コイツら…
嫌…嫌あ…

ちげーって
コイツ俺らのちんぽ
まとめて相手して
くれるんだってば

な？ド淫乱のお姫様！
違うか？おい

離…離して…
やめなさい…

お願いだから…



ま、俺らも
穴があれば
いいんだが

死なないで生きてりゃ
そりゃどんなセックスでも
経験してるんじゃないの？

ギッチギチにちんぽ
締め付けて来やがる！

おーおー
言うねえ？

良いよ良いよ
その調子でいて
くれると

こっちも頑張り甲斐が
あるってもんだッ

た、大したこと
無いじゃない…の…

こんなっ
こんなっ

奥まできっちり
ハメてやるからよっ

ひくう！
うあっ…！

腰引いて
逃げんじゃねえぞ

不死つつう
くらいだから

どんだけ乱暴にしても
元に戻っちゃうんだろ？

あぐっ

レイプに相應しい
素晴らしいマンコ
じゃねえの

こっちもたっぷり
チンコズボズボ
してやっから

せいせい
たっぷり
喘いでくれや



こっちもそろそろ
ほぐれてきただろ

輝夜あ！
おい、離せっ！
だからっ触るなあ！

ああっ！
ああっ！
ああっ！
ああっ！

なあ？姫様よお
おらっ聞いてんのかあ？

こ、こんなの
こんなっ乱暴に…っ

あああっ！
ひいあ！



あうっ！

あめ
あめ

ケツ穴ほじくり返されて
ひいひい言ってやがる

返事すらマンコで
するようになったな
まったな



やめろっ！！
お前らっ！！

こっちはまだまだ元気
余ってるみたいだな

コイツもさっさと
挿れちまおうぜ

始まったばかり
だっのにそんなんじや
この先思いやられるな

無駄な抵抗だって
まだ分かんねえのかな

離せって
言ってるだろお!

オラっ
暴れんな!

輝夜:
待ってろ:
すぐに:

つつても
あっちみたいに
無抵抗になつて貰つても
つまらねえんだよな

えーと
妹紅ちゃんだったけ?

犯されてどれだけ
その元気が持つか
頑張ってみよっか!

ああう:
ひっ:

ああああーっ!

なんだ
随分キツいな
コイツの穴は

お前達も
殺す...殺してやる
絶対...ころ

その調子だぜ

んじや
妹紅ちゃんの
マンコ
頂いちゃう
からなっつと

セクシー

あ

フン

ズ
ズ

ズ



姫様に負けず
いい声出すじゃねえか

締め付けも
ちとキツイが
悪くねえ

やめっ
もう嫌だあ!

こっ
こんなのお!

抜いてえっ!

締りも最高で
こりゃあ 人とも
当たりだな



こんなのっ嫌だあっ

気持ち悪いっ…
痛いし…

セックスって
好きな人とツ…するって
けーねがっ…



そりゃあ
レイプだしな
もっと乱暴にして
欲しいってか?

もっと抵抗して
くれてもいいんだぜ

ちんぼ締め付ける
位しかできねえ
だろうけどな

あああっ!!
あああ!!

もっと激しく
突きまくってやっからよ

ビービー泣いて
俺らを楽しませてくれや

ま、痛いのは
最初だけだからよ

動くっ
なあっ……!

あっちのお姫様と
一緒にアンアン
声出してもいいんだぜ?

か、輝夜の
あんな顔……
初めて見る……

輝夜あ!

見る、すげえ
顔してやがるだろ

お前もそんな顔に
なっちゃってるんだぜ

おちんぽ大好きー!
とか言い出しそうだな!

お互い見られて
興奮しちまうってか?

もこ……
みっ……見ないで……



不死って妊娠とか
しねーのかな

わっかねんね
臆に出してっつか
妊娠するまで
やっちまえばいいんじゃね

そっちのほうが
コイツラも
コイツラの子宮も
喜んでくれるってモンだろ

あー
ごもつともで



何なら知らねー奴
連れてきてもいいんだがね

生涯俺らの
ペットさせてやっか

それこそ俺らが
先に果てちまうっつの

嫌ッ：
いやだあー！！



なあ？
妹紅ちゃん？

しっ、知らないっ
そんなの知らないっ！



こっちが先に
枯れちまうんじゃね？

ま、いくらでも
仲間いるし

拉致しちまおうぜ
ずーっと飼って
輪姦してやっから



おらっ出すぞっ
しっかり
受け止めるよ!

一滴も零す
んじゃねえぞ!

ザッ
ザッ
ザッ

ザッ
ザッ
ザッ

ザッ
ザッ
ザッ

ああ
ああ
ああ

ザッ
ザッ
ザッ

ザッ
ザッ
ザッ

ああ
ああ
ああ



一番奥に
出してやっからよ

穴締めてきっちり
絞りだせやっ!

ザッ
ザッ
ザッ

ああ
ああ
ああ

ザッ
ザッ
ザッ

ザッ
ザッ
ザッ

ああ
ああ
ああ

ちめっ

あー、出た出た
良かったぜ
お嬢ちゃん

んじゃ次のヤツ
どーぞ

も…妹紅…
に、逃げ…

おう、妹紅ちゃん
まだまだちんぽ
いっぱいあるからねえ

もうっ
やめっ…

やっとかよ
全く待たせやがって

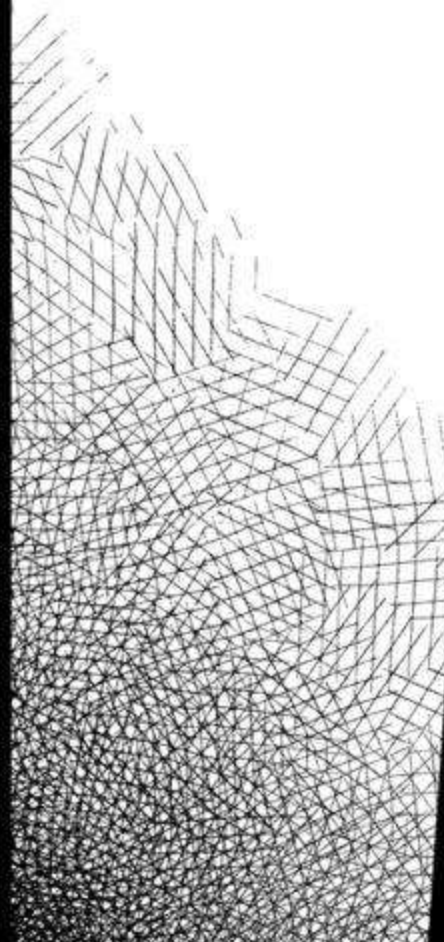
俺はこっちの
上品な女だな

休む暇
なんてねーからな

いや…いやだあ…
輝夜…輝夜あ…

さっきから元気
無くなっちまった
みたいだけど

大丈夫か？
おーい





あつ...あれ...
私は...んんっ

んん...?
んん...?



んん...?
んん...?



妹紅ちゃんあの後
すぐ気を失ったからさ
拉致ってきたぜ

あっ!?

なっ何してっ

ああああっ!
抜いてっ! 抜いてえ!

悪いけど勝手に
マンコ使わせて
貰ってっから

いや、眠ってる間に
何発出したか覚えてねえや
悪いね!



こっ
こっは...あっ
どっ...?

こっ
この感覚は...?



目が覚めたかい
お嬢ちゃん

竹林とは
言え外じゃ
人目につくからな

お、おい!
巫山戯るな
今すぐここか...あっ!

そっ、そうだっ
お前らッ!



ああっ！おちっ
おちんちん！
ちようだい！

すっかり
チンポに
ハマっちまったな
お姫さんよお

もっと腰を振れって
そんなんじや
俺ら全然満足出来ないよ

な、何だ…
何だよアレ…

輝夜…お前
なんてっ…

何…
してるんだよ…

やって…やってまふ…
やって…もっとお



仕方ねえお姫様だ
おらっ、腰を
引くんじやねえぞっと！

輝夜っ！
そんなんっ！

んだよ
暴れんなっつの

お前らっ輝夜に
何かしたのかっ！？



あああああっ！

この極上マンユは
何度犯しても
締りは最高だっ

さすが不死ってだけ
あるわ

あんまり嫌がる
モンだから
可哀想になってな
薬使ってやったんだ

んんっ
細い体してるなあ
輝夜ちゃん

その薬なんだが
適量でいきまくるっつー
媚薬でな

前も後ろも
顔もとろっところに
蕩けちまって

こっちも
しゃぶれってんだよ
後が支えてんだ

で、やり過ぎると
死んじゃうらしいんだが

おっ？
またイキ
死んじゃったか？

来るぞっ一番締めて
来やがるこの瞬間がっ

たっ、たまんねえ！

ぐっ！たっぶり
絞り取りやがるっ

ま、お前等は
生き返るしな

もっと腰下げろって
言ってるんだよ

無理無理言ってるねーで
ケツ沈めろって！
奥まで入らねーぞお

んで、生き返る度に
段々とちんこ
狂いになっちまってな

あつ、あああ！

あつちの姫様には
その致死量ってヤツを
とっくに超えて貰ってるんだ

輝夜：
お前…その顔…
なんだよ！
なんだよ！
なんだよ！

死ぬっ！
しんじやううっ！

ほらほら、腕上げて
抵抗すんなっつもの

今じゃ
あのザマなんだわ

無理っ
これ以上っ…ああ
奥は無理なのお





どうだい？
体の調子は…

嫌…嫌…
壊れる…
アイツみたい…

これ…何…
芯から何か…
嫌…怖い…熱…

アソコが熱…

嫌…

妹紅ちゃんにも
同じモノ飲んで
貰おうかな

ほら
そこにあるだろ？

おら！
口開ける！

嫌だじゃねえよ

んぐう！

ホントは薄める
らしいんだけど
姫様と同じで
原液だぜ

ほらゴクンしろ
ゴクン
出すなよ？

ドクドク

ザクザク

ドクドク

ドクドク

ザクザク

ザクザク

ザクザク

ザクザク

ザクザク

ザク

あー…
やっぱ死んじまったか？

あっ…？
あああっ！

お、やっと
お目覚めか？

体が…動けない…
熱くて…火照って…

おーい
大丈夫かあ？

そのうち生き返るだろ
さっきの姫さんみたい

飲むだけじゃ
体にも塗りたい
やりにくくてな

おっばい…
おっばいだめえ…

ああ…
ああ…

ははっ
さっきの元気は
どこいったよ？

ほら
お前の大嫌いな
チンポだぜ

ああ…
ああ…

そろそろ自分から
おねだりしてみろよ

欲しくてしょうがない
んだろーが

お…おちんちん…

ズズズズ



…ッ!ダメっ!
駄目だっ!

そらないっ!
そんなのいるかあっ!

巫山戯るなっ!

おっ?
妹紅ちゃん? 凄いな
まだ我慢しちゃう?



あ…欲しいって…
アレが欲しいって…
カラダが言ってる…

あ…

う…あ
駄目だ…
輝夜みたいになっ
ちやう…



んじゃ大サービス
マンコじゃなくて
お尻に入れてあげよう

なっ!?!
おめっ!
やめっ…ッ



あたまが…!
焼き切れちゃ…!
気持ちいい…

うああっ!
ああああ!

アレが…欲しい…
駄目だ…
そう、輝夜みたいになっ

でも…欲しい…





こっちの姫さんは
随分と上手に
なってきたな

もう何回イッてるか
すら分かんねえだろ

はは、何回イッたか
体を書いて
おけばよかったぜ



ほら
しゃぶれよ

あっちのお姫様
みたいにしつかり
啜えてくれな

ん？ほら？
どうしたの
そんな怖い顔して

大好きな
おちんちんですよ？

ん、そうそう
素直が一番



おら、後ろもいるからな
休んでんじゃねえぞ！

逆らえない…
体が…もう…

好き放題されてるのに
なんでこんな…

駄目だ…もう…
頭の中が…



零すなよっ!

精液ぶっかけて
やつからな!



よし良い
感じだ

上げて
こっちむけるっ



あああっ!
ああっ!

大好きなスperlマだ
なあ姫サンよお

ハハッ!こいつ
ぶっかけられただけで
もイッチまっただけで



こっちも限界だわ
よっしやお揃いで
ぶっかけてやる

こっちはもう体中
精液だらけだからな

もうかける所も
残ってねえよ!

仕上げだっ
たっぷり味わえや！

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

お互い見せつけられて
イッチまいな！

！！





あー出る！
射精るわあ！

ザーメン垂らして
アへ顔キメちまいな！

なんだあ？
まだやってるのか？

まったく
何人呼んだら
こうなんだよ

すっかり
歯向かう気も
失せちまって可哀想に

これからは
ずーっと
俺らの孫より更に
後も相手して貰うかな

ハハッそいつあ
酷えや！

ま、頑張ってくれや

あとがき

このたびは、「死ぬまで堕ちる夜」を手にとって頂き
ありがとうございます。

毎度の陵辱的な流れでした。
なんとなく2人セットで描く流れが多い気がします。

今回のゲストにも
毎度お馴染みによろりさん！
いつも本当にありがとうございます！
後日談っぽく調教済みみたいな感じになっていて
さすがでございます。

次は大⑨他を予定しております。
九州まで行けない人のために
何とか出来たら良いなあと思ってます。

また次も手に取って頂ければ幸いです。

やまいそ

奥付
死ぬまで堕ちる夜

発行: あらるだいと
発行人: やまいそ

発行日: 2012年12月30日発行(初版)

印刷所: サングループ様

e-mail: ararudaito-yamaiso@t-net.ne.jp

原作 : 上海アリス幻楽団様

18歳未満の閲覧、領布はできません。
ご了承ください。
無断転載および複製・アップロードは禁止です。

ararudaito presents